

冬場の胃腸炎 ノロウイルス

寒い時期になると感染性胃腸炎の患者さんが増えてきます。
その主な原因は、ノロウイルスによる感染です。

ノロウイルスの感染の流行は12月～1月にピークとなります。
ノロウイルスに感染すると、1～2日の潜伏期間を経て発症します。
主な症状は、嘔気（おうき）・嘔吐（おうと）、下痢（げり）、腹痛などです。発熱は軽度で頭痛を伴う事もあります。通常は、これらの症状が2日間程度続いた後、自然に回復していきます。ただし、高齢者や幼児の場合は、高度の脱水状態となり入院が必要となる事もあります。



感染の原因

1次感染の原因としては、牡蠣などの二枚貝や井戸水などがよく知られています。
2次感染としては、感染者が調理した生野菜、生魚などの非加熱食品の摂取、感染者の糞便、吐物から手指を介しての感染、吐物が乾燥化して空中に舞い上がり、それが口に入ることにより感染します。

特別な治療法は無く、ウイルスなので抗生剤も効きません。
強い下痢止めはウイルスの排出を妨げるため、回復を遅らせることになるので服用しない方がよいと言われています。下痢・嘔吐が原因で脱水症状になりやすいため、水分補給が一番大切です。水・お茶よりは、スポーツドリンク等の電解質を含んだものの方が吸収が良く、人肌に温めて飲む事により腸管への刺激も少なくなります。

胃腸が回復してくると、おならを出すとスッキリとした感覚があり強い臭いもしません。反対に胃腸が回復していないと、おならからは強い悪臭が漂い、出したあとのスッキリ感がありません。

症状が落ち着いてきたら胃腸本来の働きを高め、弱った胃を助ける健胃生薬配合の大草胃腸薬と腸内環境を良好にして腸の調子を整えるビフィズスαをご紹介します。

参考資料 一般社団法人 奈良県医師会HP、新宿トミヒサクロスクリニックHP

機能性表示食品

関節の友

（届出表示）本品には非変性Ⅱ型コラーゲンが含まれています。非変性Ⅱ型コラーゲンには関節の柔軟性、可動性をサポートすることが報告されています。

（お召し上がり方）1日1粒を目安に、水とともにお召し上がりください。



希望小売価格 20粒 税込5,184円 税抜4,800円

このFAX通信は、研修用資料のため、店頭ではご利用になれません。